

企業等のCSR活動・社会貢献活動の ご担当者さまへ

令和2年12月



National Institution For Youth Education
独立行政法人 **国立青少年教育振興機構**

本件お問い合わせ先：民間企業等連携促進室
電話：03-6407-7740,7628 e-mail: honbu-minkan@niye.go.jp

国立青少年教育振興機構の活動とは・・・

青少年教育のナショナルセンターとして、
総合的・体系的な一貫性のある体験活動等の
機会や場の提供をしています。

- 教育事業 （主催事業：当機構が主催し参加を募集するもの）
- 研修支援事業 （受入事業：学校・青少年団体などが集団宿泊活動のため当機構を利用するもの。教育的ねらい達成のための指導・助言。）
- 調査研究
- 子どもゆめ基金事業



国立妙高青少年自然の家



国立中央青少年交流の家



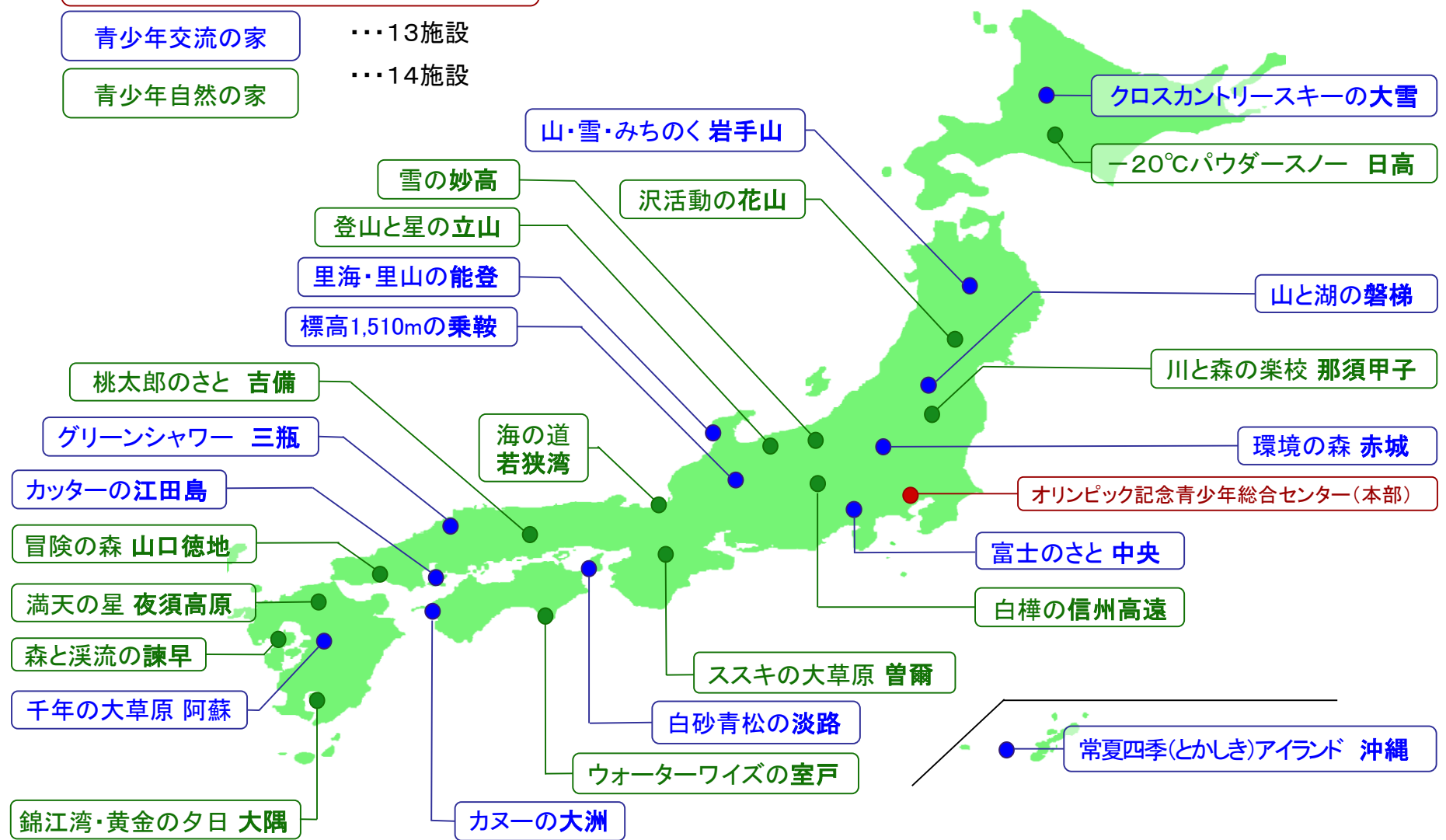
国立淡路青少年交流の家

国立青少年教育施設の教育拠点（計28施設）

国立オリンピック記念青少年総合センター

青少年交流の家 ……13施設

青少年自然の家 ……14施設



現在、青少年教育振興のための民間企業等との連携に力を入れています。

例えば次のようなマッチングが可能です！

- ①企業理念等のPRやCSR活動実践の機会、場の提供
- ②企業等の出前講座及び当機構職員の活用
- ③企業等とのプログラム協働開発・実施
- ④企業等の情報収集のための調査等の機会の提供
- ⑤企業等の社員の方々の実践的な研修の支援 etc

機構と連携してCSRを進めるメリット

①未来につながる活動

当機構は、青少年の健全育成のための公的機関です。連携してCSR活動を行うことは、**未来へつながる活動となり、結果として、将来の顧客の獲得や社員養成につながる**可能性もあります。また、当機構では、親子向けのイベントを数多く実施しており、**子育て世代の親を対象とした活動を行うことも可能**です。

②効果的・効率的な取組（費用対効果が高い）

当機構の施設は、小学校、中学校、青少年を中心に**年間500万人が利用**しています。全国に28施設あり、規模を活かした全国展開が可能です。また、研修室や宿泊施設、スポーツ施設などの**設備が整っている**とともに、**指導者も充実**しているため、**経費を抑えて事業等に取り組むことが可能**です。

③地域貢献の充実

国立青少年交流の家、国立青少年自然の家では、「半国立・半地域立」をコンセプトに掲げ、地域連携を重点的に進めています。各地の施設と連携することで、**地域とのつながりの充実を図る**とともに、地域の声のモニタリングの場としてイベントを活用することも可能です。

④社員への福利厚生等の充実

親子向けの体験活動プログラムを社員とその家族向けに実施することを通して、社員の福利厚生となるとともに、**社員が改めて会社の役割等を考える機会や子どものキャリア教育**の機会にもつなげることも可能です。

⑤その他

- 国立機関と協働により、**企業への信頼度やイメージ向上**の効果も期待できます。
- 当機構は、体験活動を通して、豊かな人間性を育むだけでなく、**環境教育や防災教育、キャリア教育など幅広い分野に対応**しています。

例えば、こんな連携が可能です。

- ①企業理念等のPRやCSR活動実践の機会、場の提供
- ・イベントにおけるブースやステージへの出展

事例:「キッズフェスタ」への出展(国立オリンピック記念青少年総合センター)

春と秋に各2,500人程度の子供と保護者を対象に、体験ブースやステージ発表などを行うイベントを実施しています。これまで「日本マクドナルド株式会社様による食育教室」や「株式会社ココカラファイン様によるこども薬局」、「株式会社CA Tech Kids様によるプログラミング教室」、「株式会社セブン銀行様によるボノロンえほんおはなし会」等、各企業・団体の皆様に出展いただきました。

また協賛として、株式会社明治様よりノート、日本マクドナルド株式会社様よりハンバーガー券、株式会社大塚製薬工場様より経口補水液の提供もいただきました。



提案:施設開放イベントへの出展

キッズフェスタ(東京)への出展等をとおして企業の広報やCSR活動の機会とすることも可能です。また、同様に全国の各施設でも様々な機関・団体と連携して施設開放イベント(〇〇フェスティバル)を実施していますので、全国の各地での出展も可能です。

②企業等の出前講座及び当機構職員の活用

・教育事業等の1コマで出前講座

事例:熱中症予防対策の出前講座(各施設)

当機構の各施設で実施する「教員免許状更新講習」や「ボランティア養成セミナー」などにおいて、株式会社大塚製薬工場様の担当者による熱中症のしくみや予防法、対処の仕方など熱中症予防対策の講義を行っていただきました。また、経口補水液「OS-1」を提供をいただき、講習後に試飲の場を設けました。



提案:「食育教室」等の出前講座

当機構主催の子ども向けキャンプや親子向け事業の参加者を対象に、貴社の得意な分野の講座を社員の方に講師となっていただき実施することができます。

親子向け事業においては、親子のプログラムを別に設定し、親のみを対象として講座を実施することも可能です。

また、全国各地の当機構施設を利用する学校・学級を対象に、各学年の理解度に合わせた講習開催を学校・団体単位で一般募集して実施することも考えられます。

③企業等とのプログラム協働開発・実施

・ 共催事業の実施

事例:「HSBC kid's together えいご de スノーキャンプ in テンパーク」(岩手山)

東日本大震災の被害を受けた陸前高田市の児童・生徒に対し、様々な自然体験活動や英語を使った活動を通じて、同郷の友達と交流やふれあいを深めるとともに、豊かな心を育み心身のリフレッシュの機会とするために実施しました。

当機構、HSBC（香港上海銀行）様、NPO法人NICE様の3者が連携して企画・運営を行い、社員がボランティアとして参加することで研修の機会となりました。



英語でオリエンテーリング:「よ～し、いっぱい英語を話そう」

提案:親子自然体験キャンプの実施

4・5歳児とその親が、親子で自然に親しみ様々な活動を体験するキャンプです。

キャンプ中の活動については、当機構に全活動プログラムの運営をお任せいただくことも可能です。また、貴社の希望するプログラムを盛り込むことも可能です。

	1日目	2日目
午前		自然散策 野外炊事(カレー、スイーツ)
昼	集合	カレー、スイーツ
午後	始まりの会 仲間づくりゲーム 運動遊び	さよならの会
夕食	食堂	
夜	親:健康講座 子:体験遊び	

④企業等の情報収集のための調査等の機会の提供

・当機構の調査の活用

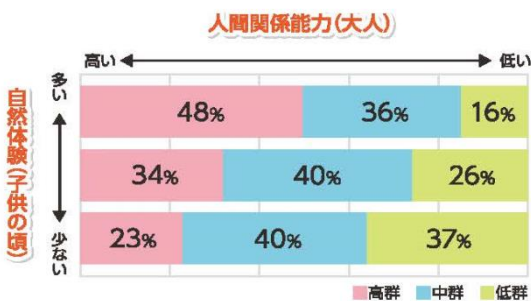
事例:「青少年の体験活動に関する実態調査」など当機構の調査結果を活用

当機構が行った「青少年の体験活動に関する実態調査」の内容をコールマンジャパン株式会社様の自社HPに掲載していただきました。

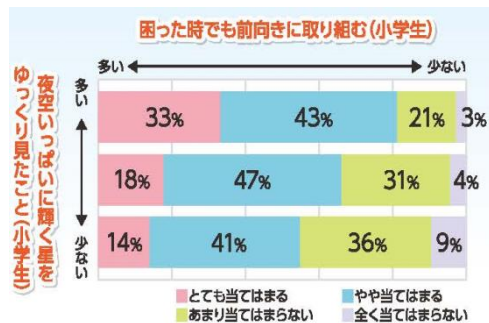
調査結果の例

当機構の調査研究内容については、こちらをご覧ください。

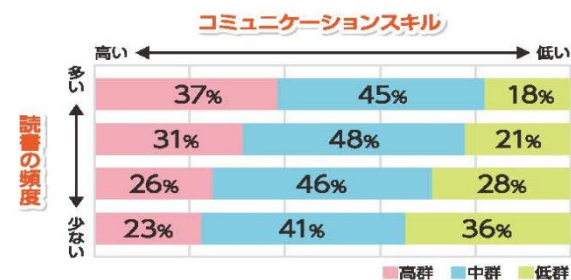
http://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/



子どもの体験活動の実態に関する調査研究



青少年の体験活動等に関する実態調査
(平成26年度調査)



子どもの生活力に関する実態調査

提案: 当機構の調査結果のご活用及び共同研究

当機構は調査部門を有しており、調査結果をご提供するとともに、青少年教育に関する貴社との共同研究や調査が可能です。

⑤企業等の社員の方々の実践的な研修の支援

・社員研修での活用

- 宿泊料金 各施設とも学校利用・青少年利用 無料（一般団体（企業等）は別途施設使用料1人1泊810円）
※国立オリンピック記念青少年総合センター（以下、「オリンピックセンター」という。）は、1泊1,830円～
- 宿泊に係る料金 シーツ洗濯費用1組300円 ※オリンピックセンターは、宿泊料金に含む。
- 食事代（3食） 中学生以上1,670円程度（バイキング方式）
※オリンピックセンターは、ホームページを参照のうえ、各食堂にお問い合わせください。
（例：ふじ 朝食500円 昼食620円 夕食690円 一部に前売り割引あり。懇親会も対応可。）
※プログラム指導を依頼する場合の指導料 一部のプログラムでは、指導料がかかるものがあります。
- 活動施設
 - 屋内には、研修室・・・・・・・・・・座学（少人数から多人数までが使用可能）
 - 講堂・・・・・・・・・・講演会、小コンサート
 - 体育館・・・・・・・・・・大規模な講演会や、バレー・バドミントン等のスポーツ
 - 屋外には、グラウンド・・・・・・・・野球、サッカー等のスポーツ
 - キャンプ場・・・・・・・・・・テント泊
 - 野外炊飯場・・・・・・・・・・バーベキュー、カレー、ピザ等
 - 登山・ハイキングコース・・・・登山、ハイキング等
- その他、施設により、カッター、カヌー、天体観察等も可能。サイクリングコース、テニスコート等も有。



活 動 の 風 景

次のようなマッチング事例があります！その1

★株式会社 大塚製薬工場様の事例

地方施設の主催事業の中に出前講座を組み込み、水分補給の仕方を幼児を含む子供たちにもわかりやすく伝えた。

(参加者の声)

「正しい水分補給の方法を知ることができ、これからは外の活動の参考にしたい」
「のどが渇く、ことが血液中の水分が足りていないということを初めて知った」
「脱水のサインがどんなものがあるのかわかったので実践してみたい」

(出前講座を展開した担当職員たちの声)

・水分補給の仕方を、保護者だけでなく、小さい子供たちにもわかりやすく伝えるために子供の目線で話をするなど、様々な対象への伝え方がとても勉強になった。子供にもわかるように説明する、伝えるといった体験が、とても良い研修の機会になる。

・参加者の質問などから、商品に対する印象や率直な意見をもらえることで、今後の商品開発の参考になる。



↑熱中症予防対策講義の様子
(岩手山青少年交流の家)

次のようなマッチング事例があります！その2

★東武鉄道株式会社様の事例

平成30年度～令和2年度の3か年にわたり合計4回、赤城青少年交流の家にて「育パパ&育ママ応援ファミリーキャンプ」を実施。チラシ、中吊り広告等での周知による広報連携のほか、特急車両の一部を貸切るなどのご協力をいただき、親子がのびのびと自然体験を楽しめる場を創ることができた。

10月5日 1泊2日の旅 出発 発限定
東武特急 りょうもうで行く
育パパ&育ママ 応援ファミリーキャンプ
in 国立赤城青少年交流の家 1泊2日の旅
群馬県赤城山の大自然の中で遊ぼう!!
同じような環境にある子育てパパママと一緒に赤城山の大自然の中で、親子で思い切った体験が待っています。経験が親子関係が伸びて、親子で楽しめる。子育てについても学べる。子供の新しい面を発見できる。パパママにとって素晴らしい2泊3日のツアーです。移動は貸切車両なので、特急列車を堪能できます。
旅行代金(送迎費付) 浅草駅・北千住駅・東武動物公園駅発
大人 10,500円 小人 5,530円 幼児 4,730円
東武特急 りょうもうで行く
東武トップツアーズ株式会社
TEL. 03-5843-9614
東武特急 りょうもうで行く
東武トップツアーズ株式会社
TEL. 03-5843-9614

↑実際に掲出いただいた中吊り広告
東武線各線に加え、相互乗り入れをしている地下鉄各線、東横線などでも乗客の皆様の目に留まるように掲出いただいた。

(参加者の声から)

★特急に乗りたかった、車両内での車掌さん体験に興味を持った参加者が多く、楽しめた様子が伺えた。

「キャンプはやってみたかったが、ハードルが高かった。今回、初心者にも優しい内容で不便もなく、参加して良かった。」
「久しぶりに親子で大自然に触れて元気をもらった。」
「是非、次回も参加したい。子供達はとても楽しい様子だった。」